



安全衛生

あれこれ

2

増田労働衛生コンサルタント事務所

所長 増田稔久

今月4月28日は何の日か、ご存知ですか？

ILO（国際労働機関）が定めた「労働安全衛生世界デー」(World Safety and Health at Work)です。大正3年4月28日、カナダで「包括的労働者補償法」が成立しました。この日をカナダが「犠牲者を追悼する記念日」と定め



国際労働機関(ILO)ホームページ「2015年労働安全衛生世界デー」
「みんなで築く労働安全衛生の予防文化」アニメの一場面より

労働安全衛生世界デー

たのが世界デーの由来です。平成14年にはILOが国連（ILOは国連の傘下機関）の国際デーとし、翌年「労働安全衛生世界デー」と名称を変え現在に至ります。我が国では7月に全国安全週間が行われるためか、あまり知られていないようです。

ILOは、労働災害による死者数は世界全体で年間230万人、負傷者は1億6千万人に達すると推定しています。信じられない人数です。世界デーもスローガンがあります。昨年は「若年労働者の安全と健康に投資を！」でした。若者の被災率は一般の1・4倍に上り「なぜ若者のリスクが高いのか？」をタイトルとした図解物語が制作されました。今年のスローガンの発表は4月に入ってからでしょう。

詳しくはILO駐日事務所のホームページを参照ください。

私が世界デーに興味を持ったのは、2015年のスローガン「みんなで築く労働安全衛生の予防文化」でした。同時に公開されたILOのアニメ（上記）が印象的で、ILOのバスに乗った「ILOの運転手、政府、経営者、労働者、安全コンサルタント、保険業のスタッフ」が災害ゼロを目指して軽快に走っています。安全の推進は6者で取組むのがグローバルなのだと思います。

ところで、世界デー発祥のカナダで、もう一つ災害防止に寄与したのが安全啓発ビデオのネット発信です。もう公開されて10年になります。ご覧になったことはありませんか？「カナダ保険局」で検索してください。日本語解説を追記したページもあります。ただ、ショットキングな映像ですので、気の弱い方は見ないでください！この他にも様々な啓発ビデオが世界中でアップされています。次はおススメの一例です。

■「Safety is a Daily Routine」（歩きスマホ等）

■「Why do we wear PPE」（保護具）

■「HEALTH AND SAFETY-WORKING AT HEIGHT VIDEO」（建設）

世界デーを契機として、海外ビデオも活用し、安全を語り合うのも意義あることではないでしょうか。

タイトル・浅井健史